

平成 23 年 7 月 5 日
日本生命保険相互会社

アリアンツ社の転換権付劣後債への投資について

日本生命保険相互会社（社長：筒井義信、以下「日本生命」）は、世界最大級の金融サービス機関である、アリアンツ SE（会長兼 CEO：ミヒャエル・ディークマン、本社：ドイツ、ミュンヘン、以下「アリアンツ」）の 100% 金融子会社アリアンツ・フィナンシャル II B. V. の発行する、転換権付劣後債（満期 30 年）を購入することを決定しましたので、お知らせ致します。なお、この転換権付劣後債は、親会社であるアリアンツによる保証が付いております。投資額は 5 億ユーロ（約 600 億円）で、この取引に係る手続きは、2011 年 7 月 7 日に完了する予定です。

アリアンツは 1890 年に設立されたドイツ最大の保険グループであり、現在は約 70 カ国で 7,600 万人以上の顧客に生命保険や損害保険、資産運用サービスを提供する世界有数の金融サービスグループです。日本生命とアリアンツは、生命保険事業に対する理念や哲学を共有できる会社であり、経営トップから実務レベルまで幅広い交流を実施しております。今回の投資は、こうした両社の関係を強固にし、長期にわたり双方にとって有益なパートナーシップを構築していくことを目的としています。両社は今後、人材交流などを通じ様々な分野で協力関係を深めていくことを目指しております。

以 上

(別紙)

【アリアンツSEの概要】

1. 名称	アリアンツSE
2. 本社所在地	ミュンヘン
3. 主な事業内容	生命保険、損害保険、資産運用、銀行
4. 会社規模及び業績 (2010年12月31日時点)	連結総資産 6,249億ユーロ (約75兆円) 連結総収入 1,065億ユーロ (約13兆円)

【参考：当該証券に付与されている転換権について】

この転換権付劣後債には、発行日から10年間いつでも行使できる転換権が付されており、当転換権の行使により、アリアンツの普通株式を取得することが可能となっています。また、発行日から10年間は、所定の条件が満たされると自動的にアリアンツの普通株式に転換されます。